

## 第 132 回日商簿記検定試験 模範解答

## 2 級

## 商 業 簿 記

第 1 問(20 点)

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	建 物	700,000	当 座 預 金	1,200,000
	修 繕 引 当 金	400,000		
	修 繕 費	100,000		
2	受 取 手 形	860,000	売 上	860,000
	仕 入	650,000	未 着 品	650,000
3	仮 受 消 費 税	117,800	仮 払 消 費 税	84,800
			未 払 消 費 税	33,000
4	備 品 減 価 償 却 累 計 額	972,000	備 品	1,200,000
	減 価 償 却 費	36,000		
	未 収 金	185,000		
	固 定 資 産 売 却 損	7,000		
5	仕 入	407,500	前 払 金	70,000
			買 掛 金	337,500

仕訳 1 組につき 4 点 合計 20 点

(配点は、当学院の予想です)

## 第 2 問(20 点)

繰越		商	品
1/ 1	前期繰越	20,000	
31	(仕入)	( 37,000 )	
		( 57,000 )	
2/ 1	前月繰越	( 37,000 )	

積送		品
1/ 6	(諸口)	( 74,000 )
1/ 9	(仕入)	( 74,000 )

仕		入
1/ 5	買掛金	200,000
9	(積送品)	( 74,000 )
20	買掛金	300,000
31	繰越商品	( 20,000 )
		( 594,000 )
1/ 6	(積送品)	( 70,000 )
31	繰越商品	( 37,000 )
"	損益	( 487,000 )
		( 594,000 )

試用		仮	売	上
1/(25)	試用未収金	( 27,000 )	1/(16)	試用未収金 ( 45,000 )
(31)	(次月繰越)	( 18,000 )		( 45,000 )
		( 45,000 )	2/1	前月繰越 ( 18,000 )

売		上
1/31	損益	( 587,000 )
		( 587,000 )
1/ 9	当座預金	( 100,000 )
10	売掛金	460,000
25	売掛金	( 27,000 )
		( 587,000 )

1 つにつき 2 点 合計 20 点  
(配点は、当学院の予想です)

## 第3問(20点)

## 精 算 表

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金預金	416,250		20,000				586,250	
			150,000					
受取手形	70,000			20,000			50,000	
売掛金	234,000						234,000	
売買目的有価証券	149,500		2,000				151,500	
繰越商品	82,000		95,500	82,000			91,550	
				710				
				3,240				
建物	3,000,000		1,000,000				4,000,000	
備品	600,000						600,000	
建設仮勘定	800,000			800,000				
満期保有目的債券	49,400		200				49,600	
のれん	6,000			1,200			4,800	
未決算	200,000			200,000				
支払手形		40,000						40,000
買掛金		157,000						157,000
前受金		30,000	30,000					
借入金		300,000						300,000
貸倒引当金		3,700		1,980				5,680
建物減価償却累計額		900,000		100,000				1,000,000
備品減価償却累計額		292,800		61,440				354,240
資本金		3,400,000						3,400,000
利益準備金		82,000						82,000
繰越利益剰余金		143,500						143,500
売上		2,808,000		30,000		2,838,000		
有価証券利息		1,000		200		1,200		
仕入	1,926,000		82,000	95,500	1,912,500			
給料	600,000				600,000			
支払保険料	15,000			2,000	13,000			
支払利息	9,850		650		10,500			
	8,158,000	8,158,000						
火災損失			50,000		50,000			
貸倒引当金(繰入)			1,980		1,980			
有価証券評価(益)				2,000		2,000		
棚卸減耗損			710		710			
商品評価損			3,240		3,240			
未払金				200,000				200,000
減価償却費			161,440		161,440			
(のれん)償却			1,200		1,200			
(前払)保険料			2,000				2,000	
(未払)利息				650				650
当期純(利益)					86,630			86,630
			1,600,920	1,600,920	2,841,200	2,841,200	5,769,700	5,769,700

1つにつき2点 合計20点  
(配点は、当学院の予想です)

## 工 業 簿 記

4問(20点)

		借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	(1)	材 料	266,000	買 掛 金	266,000
	(2)	仕 掛 品	227,500	材 料	227,500
	(3)	原 価 差 異	21,500	材 料	21,500
	(4)	仕 掛 品	19,500	当 座 預 金	19,500
2	(1)	仕 掛 品	162,000	賃 金	297,000
		製 造 間 接 費	135,000		
	(2)	原 価 差 異	1,000	賃 金	1,000

1. 各 3 点

2. 各 4 点 合計 20 点  
(配点は、当学院の予想です)

第 5 問(20 点)

(1) 当月の直接材料費総額 =  円(2) 当月の製造間接費総額 =  円(3) 当 月 の 貢 献 利 益 =  円(4) 当月の損益分岐点売上高 =  円(5) 当 月 の 必 要 売 上 高 =  円各問につき 4 点 合計 20 点  
(配点は、当学院の予想です)

## 【2 級解説】

## 第 1 問

1. 建物の耐震機能を向上させるための支出は資本的支出となるため、「建物」勘定で処理する。
2. 船荷証券の転売は、通常「未着品売上」勘定で処理するが、指定科目にないため「売上」勘定で処理すること。  
また、自己受為替手形の振り出しは、当店が受取人となるため「受取手形」勘定で処理する。
3. 消費税の税抜方式では、決算時に仮払消費税と仮受消費税とを相殺し、その差額について納付を行う（または還付を受ける）。

$$4. \text{ 備品減価償却累計額} : ¥1,200,000 \times 0.9 \times \frac{9\text{年}}{10\text{年}} = ¥972,000$$

$$\text{減価償却費} : ¥1,200,000 \times 0.9 \times \frac{4\text{ヵ月}}{120\text{ヵ月}(10\text{年})} = ¥36,000$$

5. 「前払金」勘定及び「買掛金」勘定を使用した委託買付の処理である。諸掛りを含めた買付代金の総額が「仕入」勘定で計上される。

手付金支払時の仕訳

( 前 払 金 )	70,000	( 現 金 預 金 )	70,000
-----------	--------	-------------	--------

## 第 2 問

1 月中の取引の仕訳

1/ 5	( 仕 入 )	200,000	( 買 掛 金 )	200,000
6	( 積 送 品 )	74,000	( 仕 入 )	70,000
			( 現 金 )	4,000
9	( 当 座 預 金 )	100,000	( 売 上 )	100,000
	( 仕 入 )	74,000	( 積 送 品 )	74,000
10	( 売 掛 金 )	460,000	( 売 上 )	460,000
16	( 試 用 未 収 金 )	45,000	( 試 用 仮 売 上 )	45,000
20	( 仕 入 )	300,000	( 買 掛 金 )	300,000
25	( 売 掛 金 )	27,000	( 売 上 )	27,000 <sup>*1</sup>
	( 試 用 仮 売 上 )	27,000	( 試 用 未 収 金 )	27,000
31	( 仕 入 )	20,000 <sup>*2</sup>	( 繰 越 商 品 )	20,000
	( 繰 越 商 品 )	37,000 <sup>*3</sup>	( 仕 入 )	37,000
	( 売 上 )	587,000	( 損 益 )	587,000
	( 損 益 )	487,000	( 仕 入 )	487,000

\*1  $¥45,000 \times 3/5 = ¥27,000$ 

\*2 答案用紙「繰越商品」勘定の前期繰越より

\*3 期末手許商品  $¥25,000 +$  期末試送品  $¥30,000 \times 2/5 = ¥37,000$

## 第3問

## 1. 銀行勘定調整について

(1) (現金預金)	20,000	(受取手形)	20,000
(2) 仕訳なし			
(3) (現金預金)	150,000	(未決算)	200,000
(火災損失)	50,000		

## 2. 貸倒れについて

(貸倒引当金繰入)	1,980 *	(貸倒引当金)	1,980
-----------	---------	---------	-------

$$* (\text{¥}70,000 - \text{¥}20,000 + \text{¥}234,000 \times 2\% - \text{¥}3,700 = \text{¥}1,980$$

## 3. 有価証券について

&lt;売買目的有価証券&gt;

(売買目的有価証券)	2,000 *	(有価証券評価益)	2,000
------------	---------	-----------	-------

$$* \text{時価}(\text{¥}83,000 + \text{¥}68,500) - \text{簿価}(\text{¥}85,500 + \text{¥}64,000) = \text{¥}2,000$$

&lt;満期保有目的債券&gt;

(満期保有目的債券)	200 *	(有価証券利息)	200
------------	-------	----------	-----

\* 取得原価と額面金額との差額を、取得から満期日までの期間にわたり償却(帳簿価額に加算)する。取得から2年が経過しているため、額面金額と帳簿価額の差額を残り3年で償却すればよい。

$$\text{当期償却額} : (\text{¥}50,000 - \text{¥}49,400) \div 3 \text{年} = \text{¥}200$$

## 4. 売上原価の算定について

(仕入)	82,000 <sup>*1</sup>	(繰越商品)	82,000
(繰越商品)	95,500	(仕入)	95,500 <sup>*2</sup>
(棚卸減耗損)	710 <sup>*3</sup>	(繰越商品)	3,950
(商品評価損)	3,240 <sup>*4</sup>		

\*1 期首商品棚卸高：決算整理前「繰越商品」勘定より

\*2 期末商品帳簿棚卸高：@¥100×400個+@¥105×350個+@¥125×150個=¥95,500

\*3 (400個-395個)×@¥100+(350個-348個)×@¥105=¥710

\*4 (@¥105-@¥100)×348個+(@¥125-@¥115)×150個=¥3,240

## 5. 建設仮勘定について

(建物)	1,000,000	(建設仮勘定)	800,000
		(未払金)	200,000

## 6. 減価償却について

(減価償却費)	161,440	(建物減価償却累計額)	100,000 <sup>*1</sup>
		(備品減価償却累計額)	61,440 <sup>*2</sup>

\*1 既存分：¥3,000,000×0.9÷30年=¥90,000

$$\text{当期取得分} : \text{¥}1,000,000 \times 0.9 \times \frac{4 \text{ヵ月}}{360 \text{ヵ月}(30 \text{年})} = \text{¥}10,000$$

\*2 (¥600,000-¥292,800)×20%=¥61,440

## 7. のれんについて

( の れ ん 償 却 )	1,200 *	( の れ ん )	1,200
---------------	---------	-----------	-------

\* 取得してから前期末まで5年が経過しているため、残り5年で償却する。

$$¥6,000 \div 5 \text{ 年} = ¥1,200$$

## 8. 前受金について

( 前 受 金 )	30,000	( 売 上 )	30,000
-----------	--------	---------	--------

## 9. 支払保険料について

( 前 払 保 険 料 )	2,000 *	( 支 払 保 険 料 )	2,000
---------------	---------	---------------	-------

\*  $¥3,000 \times \frac{8 \text{ カ月}}{12 \text{ カ月}} = ¥2,000$  (平成24年4/1～平成24年11/30までの8ヵ月分を繰り延べる)

## 10. 借入金利息について

( 支 払 利 息 )	650	( 未 払 利 息 )	650
-------------	-----	-------------	-----

## 第4問

## 1.

- (2) 直接材料として原料を消費したため、「仕掛品」勘定に振り替える。

予定消費額：@350 円×650kg=227,500 円

- (3) 予定消費額と実際消費額の差額を、「原価差異」勘定に振り替える。

実際消費額：@400 円×100kg+@380 円×550kg=249,000 円

原価差異：227,500 円－249,000 円＝△21,500 円(借方差異)

- (4) 外注加工賃は直接経費なので、「仕掛品」勘定で処理する。

## 2.

- (1) いずれも予定賃率により計算する。

直接労務費：@900 円×180 時間＝162,000 円

間接労務費：@900 円×150 時間＝135,000 円 予定消費額合計 297,000 円

- (2) 予定消費額と実際消費額の差額を、「原価差異」勘定に振り替える。

実際消費額：305,000 円－112,000 円＋105,000 円＝298,000 円

原価差異：297,000 円－298,000 円＝△1,000 円(借方差異)

## 第5問

- (1) 直接材料費：主要材料費 1,800,000 円＋買入部品費 700,000 円＝2,500,000 円

- (2) 製造間接費：補助材料費 400,000 円＋間接工賃金 2,210,000 円＋従業員賞与手当 80,000 円

＋減価償却費 2,950,000 円＋その他 560,000 円＝6,200,000 円

- (3) 貢献利益

売上高 24,600,000 円－変動費合計 9,840,000 円＝14,760,000 円

(4) 損益分岐点売上高

$$\text{貢献利益率} : \frac{14,760,000\text{円}}{24,600,000\text{円}} = 0.6$$

$$\text{損益分岐点売上高} : \frac{\text{固定費合計}13,320,000\text{円}}{0.6} = 22,200,000 \text{ 円}$$

$$(5) \frac{\text{固定費合計}13,320,000\text{円} + \text{目標利益}4,800,000\text{円}}{0.6} = 30,200,000 \text{ 円}$$